

百花繚乱

立川市立
立川中学校
2学年

一人一人が輝けるように たくさん挑戦しよう!

二年生の学級目標は「すびーと感をもち積極的に行動しよう」。それを達成するために、「言われる前に行動しよう」・「時間を見て素早く行動しよう」・「自分の考えを伝えよう」というテーマもつきました。二学期終了を目前に、学級目標を前にして、全員でこれまでに振り返ってみました。

どんなことを意識してきたか

- まず、授業や行事を通して、「どんなことを意識しながら成長してきたか」を挙げてみた。
- 自分の意見を隠さず言えるようになった。
- 言われる前に、少しは行動できるようになった。
- 宿泊学習で素早く行動できた。
- 行事の準備で自分の意見をたくさん言うことができた。
- 行事などで、積極的に動くこと。
- 時間をみて素早く行動するために、声かけを意識した。
- こうして、学級目標を意識することで、学級はどのくらい成長しただろう。
- 4月よりも協力する場がより多くなった。
- 「自分の意見を伝えよう」で、委員会の話し合いやクラスで何かを決めるときに、昨年よりもみんな自分の意見を伝えられている。
- みんな早く行動できるようになった。
- 自分の仕事だけでなく、片付けや準備をするようになった。



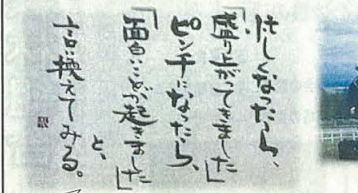
少ずつではあるが、学級としても成長してきているとみんなが実感できるようになった。

目標を意識してそれぞれも成長

前にも言いましたが、学級として成長していると感じることが多くなりました。

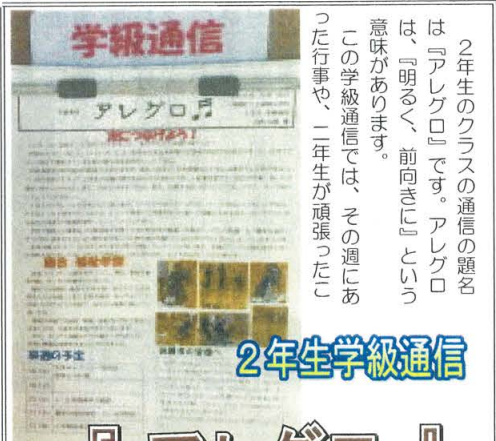


学びの成果を総合で発表



「自分の意見を伝えよう」
「時間を見て素早く行動しよう」
「自分の意見を伝えよう」
「時間を見て素早く行動しよう」

2年生のクラスの通信の題名は『アレグロ』です。アレグロは、『明るく、前向きに』という意味があります。この学級通信では、その週にあった行事や、二年生が頑張ったことなどが載せられています。また、次の週の予定や行事を行っている様子、二年生が頑張っている姿を写真で紹介してくれているので、家庭でも保護者と一緒に確認することができて、とてもありがたいです。



2年生学級通信

『アレグロ』

帰りの学活の時間に、担任の先生や二年生の仲間と一緒に、学級通信を使って確認しています。学級通信を通して、もっと一人一人が輝けるように、そしてより良い学級づくりを目指しています。(理央)

三学期が始まれば、三年生への進級も間近。どんな三年生になりたいかを大切にしたい。後輩を引っ張っていきけるようになりたい。(優凜)

積極的にやりたい。(珠季)
下級生に頼られる三年生になりたい。(知里)
☆時間を見て行動できる三年生になりたい。(理央)

三学期に向けての三学期!



☆時間を見ながら、これからもしっかりと仕事をしたい。(弘法)



町立図書館

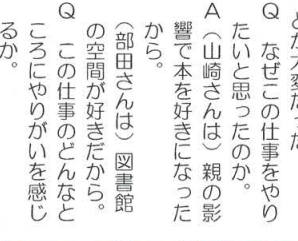
図書館では、
・ オリエンテーション
・ 開館前準備
・ カバー貼り
・ カウンター業務
・ 本の修理
の順に体験した。
配架では主にこどもむけの本についてやった。
一つ目のカバー貼り体験では、空気が入らないように丁寧に作業を行った。
三つ目の本の修理では、本にあわせただけの修理ではなく、事前に修理をしていくことがわかった。
さらに学習を深めるため事務所の方に行くついでに質問(質問Q・回答A)をした。
Q 司書の資格をとるときは大変だったことは。
A レポート、グループで

町立図書館

◎月◎日、今年度、私たちは浦幌町内の事業所にて職場体験をさせていただきました。
「浦幌町立図書館」、「浦幌町森林組合」、「浦幌町立診療所」にそれぞれ一人ずつ、「浦幌町認定こども園」には3人がお世話になりました。一日だけでしたが、体験だけでなく皆さんの質問もさせていただき、「働くこと」について考える機会となりました。(知里)

本の貸し出し、返却体験では地域の人に失礼がないように細かいところまで気を付けていることが分かった。
今回の職場体験学習を通して、開館前準備や本の修理などやったことのないことができてよかった。司書が開館前に何を

の発表・単位を取るころが大変だった。
Q なぜこの仕事をやりたいと思ったのか。
A (山崎さんは) 親の影響で本を好きになったから。
(部田さんは) 図書館の空間が好きだから。
Q この仕事のどんなところがやりがいを感じるか。
A 自分が選書したのを利用者が読んでくれるように読んでいるとき、利用者さんの興味、感心にそった本を選ぶこと。
Q 仕事で気を付けていること。
A 本を雑に扱わないこと。町民に失礼のないように(する)こと。
このようにおっしゃって



やっているの知らなかったので、くわしく知ることができて良かった。
また、来館者に失礼がないように常に笑顔で対応したり本の背表紙をそろえたりしていることも分かった。学んだことを自分の進路にも生かしていきたい。(珠季)

将来を考える

職場体験へ



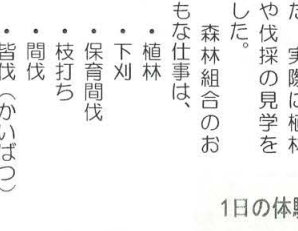
浦幌町森林組合
うらほろ町森林組合に行った。
一日の流れは下のようになっている。
森林組合の方の説明を聞き、実際に植林や伐採の見学をした。
森林組合のおもな仕事は、
・ 植林
・ 下刈
・ 保育間伐
・ 枝打ち
・ 間伐
・ 皆伐(かいばつ)
・ 地ごしらえ
に分けられる。
植林事業は、山に木を植える事業だ。植林面積の約9割をカラマツが占めていて、その他にもトドマツも植えている。
枝打ち事業は、植えてから11~20年の間に行う、植えた木の枝葉の除去作業



1日の体験の流れ
① 挨拶
② 森林組合の説明
③ 植林現場の見学
④ 伐採現場の見学
⑤ 昼食
⑥ 質問タイム

一日の主な流れは、部屋で自由遊び、絵本読み聞かせ、外遊び、散、昼ご飯。主に私たちが読み聞かせと外遊び、散歩、昼ご飯の準備をした。
学習を深めるためにいくつか質問をした。
Q 保育士をしてよかったと思えるのはどのようなときか。
A 小さい子どもと歩いたり、話せるようになったとき。大きい子どもと行事での成功、達成感を感じたとき。
Q 園児の年齢によってどのような保育の仕方をかえているか。
A 園児の年齢や発達によって違うところがある。そして園児全員が交流する時間もある。
Q 保護者の方と関わるときに、

浦幌町森林組合
保育間伐事業との並行作業で行っているそうだ。
次に今回の体験でいろいろ教えてくださった高橋さんに、「仕事について」質問し答えてもらった。
まず、森林組合で働くために必要な資格は、普通自動車免許だけでいいそうだ。他に必要ない資格は、働きながら取



ていけばいいと言っていた。
二つ目は、森林組合で一番大変なことは、森林所有者に自分の山への興味を持ってもらうことだそうだ。
三つ目に、「どうしてこの仕事に就こうと思ったか。」を聞いたところ、野外での仕事と屋内での仕事を両方できるので良い仕事だと思ったからだと教えてくれた。(弘法)

こども園

二つ目は、「園児の遊びや食べ物への好き嫌いがあつた時は、無理にさせたり食べさせないで、園児に興味を持たせて克服していく」と。
三つ目は、保育士になるには音楽表現、

大切に行っていることは何か。
A 元気な挨拶をすることや言葉づかい、態度。そのほかにも保護者の方の言葉をよく聞くことについて気をつけている。
質問をして分かったことは、三つあった。一つ目は、「園児の遊びや食べ物への好き嫌いがあつた時は、無理にさせたり食べさせないで、園児に興味を持たせて克服していく」と。
二つ目は、園児と中を深めるには距離を少しずつ縮め、友達と遊ぶのが好きな遊びが好きなのをよく見ると、



二つ目は、森林組合で一番大変なことは、森林所有者に自分の山への興味を持ってもらうことだそうだ。
三つ目に、「どうしてこの仕事に就こうと思ったか。」を聞いたところ、野外での仕事と屋内での仕事を両方できるので良い仕事だと思ったからだと教えてくれた。(弘法)



二つ目は、森林組合で一番大変なことは、森林所有者に自分の山への興味を持ってもらうことだそうだ。
三つ目に、「どうしてこの仕事に就こうと思ったか。」を聞いたところ、野外での仕事と屋内での仕事を両方できるので良い仕事だと思ったからだと教えてくれた。(弘法)

町立診療所

そして次のようなことが分かった。
◎気遣いをしながら「コミュニケーション」

一日の体験の流れは、「血圧・熱の測定、患者さんのリハビリ見学、血糖値測定の見学、レントゲン見学、経管栄養の見学、怪我の処置の見学、質疑応答」だった。
リハビリの見学では、それぞれ患者さんに合ったリハビリをする



また、見学の中で血圧・熱の測定体験では、患者さんが安心してできるように、声をかけをすることが大切だと分かった。
経営栄養の見学では、処置をスムーズに行えるよう先生が

◎今から意識しておくこと
◎やりがいは、患者さんが元気に退院してくれること
◎接すること

働くとは

浦幌町内で



怪我の処置の見学では、高齢の患者さんは皮膚が薄いので丁寧に処置をすることが大切だと分かった。
今回の職場体験で学んだことは患者さんと接し方だ。特に、認知症の患者さんと接する場面では、相手のプライドを傷つけないように配慮しながら接してることが分かった。
(理央)

造形表現、言語表現などが必要となる。他にも、保育原理や社会的養護、保育の心理学などを学ぶ必要があること。
また、読み聞かせでは園児が感想も思ったことを隠さず言ってくれるのでうれしかった。そして、外遊び、散歩では、一人でも何人かの園児をみることは大変なんだということが分かった。
今回の職場体験で学んだことは、色々なタイプの子供達との関わり方だ。一人一人に合わせた接し方で接していることがわかった。色々な人と関わることでできたのもよかった。
また、初めて話す子でも話しかけて聞いてくれた時には楽しかった。

浦幌町認定



たし、「先生」と呼んでくれる子もいて嬉しかった。
今回の職場体験で、もっと保育士になりたいと思った。今まで保育士は簡単になれるものだと思っていたが、簡単なことではない。今回の体験学習で調べたことを、これからの進路に活かしていきたい。
(知里)
(映耶)
(優凜)

受賞

世界の海洋プラスチック問題のことに

浦幌町発見優

私には昨年、国語の教科書に載っていた

「エシカルに生きよう」という話を読んで、少しずつ意識するようになりました。

この話には、世界で年間800万トンものプラスチックゴミが海に放出されているということ

や、アザラシや、ウミガメ、クジラなどのたくさんの生き物に被害が及んでいるという話がありました。中でも衝撃的だったのが、二〇一八年に神奈川県由比ヶ浜海岸でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックゴミが発見されたという話です。本来であ

れば、母親の母乳詩歌飲まな

いはすの赤ちゃんクジラが誤って飲み込んでしまうほど、海にはたくさんゴミが浮いていることを知って、私はそ

つくを受け、「地球を思う」ということが大雪だと思ひ始めました。

こんな状況の中、日本では2020年から、レジ袋有料化やストローの紙製

化が始まりました。なぜこのような活動が始まったのかというと、プラスチックを過度に使わない、そして頼らないようにするためです。プラスチックは軽くて丈夫な製品を作ることができま

来る前に準備していることが分かった。

は、プラスチック削減に向けての取組を啓発したり、企業などもどんどん取り組んでいるので。
プラスチックは、簡単に製造や加工ができたことや、透明性に優れているなど、良いところがたくさんあります。ですが、それ以上に問題

き起こしていること。そして、3つ目はプラスチックを作るために、石油資源がなくなってしまうことです。
プラスチックのいいところがたくさんあることも事実です。ですが、私はこう思いました。使うのはいいが、頼り過ぎてはいけないということ。

もっと日本ではプラスチックを減らすと同時に、再生利用にも力を入れていくと良いと思います。
こうした問題を解決するために大切なこと。それは「一人一人が「地球を思うこと」だと私は思います。企業や国の取組も大事です。しかし、それ以上に私たち消費者側の協力、考え方の転換が必要だと思ひます。例えば、エコバッグや水都を持ち歩くなど、今からでもできることはたくさんあります。私も率先して持ち歩いてい

もしませんが、私たちができることもたくさんあると思います。私たちが今までも続けてきたことの意味があると思います。少しずつ実行すること「地球を思う」取組につなげていきたいです。
さあ、小さなことから、私たちから、地球に優しくしていきますか?

「地球を思う」ことの大切さ

視しなければならぬことでもあります。中でも、特に私たちが問題だと思ったのは、次の3つです。

1つ目は、自然界では分解されにくいこと。2つ目は、処分するときの二酸化炭素の排出で、地球温暖化などを引

今日本のリサイクル率は27%。他国と比べると高くはありません。最近CMなどで

もたくさん流れ始めましたが、



小川知里

今日本のリサイクル率は27%。他国と比べると高くはありません。最近CMなどで

もたくさん流れ始めましたが、

もしませんが、私たちができることもたくさんあると思います。私たちが今までも続けてきたことの意味があると思います。少しずつ実行すること「地球を思う」取組につなげていきたいです。
さあ、小さなことから、私たちから、地球に優しくしていきますか?

上士幌役場で学ぶ

今年度のテーマは「地域づくりく地域での取り組みや工夫を学ぶ」。まず、私達は浦幌町の課題について考えた。課題は「店が少ない・子供が少ない・若者が少ない」だった。これらの課題を解決するために人口を増やすべきだと考えた。

そこで、人口の規模が同じ上士幌町の雇用増加、人口増加に繋がった取り組みや浦幌町の課題について学習を進めた。(理史)

上士幌町の取り組みを学ぶため上士幌町役場に行ってきた。ここでは役場の方の講話を聞き、自動運転バスに乗りした。ここでわかったことは5つある。

一つ目は、返礼品はドリームドルチェのエセラートや肉の加工品などがあつた。仕事は、民間企業をつくり、電力を売ったり、観光戦をやることで仕事が増えている。

二つ目は、自動運転バスについてだ。このバスはGPSで道をスキャンして走り続けている。LINEでどこにいるのかもわかる。最近ルートが追加されて利用者が増えたそう。高齢者の方が買い物が利用することが多いと言っていた。

三つ目は、スマートタウンの実現についてだ。自動運転バス、停車

づくり、ドローン災害救助コンテスト、5Gスマート農業に取り組んでいるそう。他にも交流、移住、定住の促進も行い、令和元年には42人も人口が増えている。

四つ目は、農業、酪農だ。上士幌では、「資源循環型農業」を推進している。

五つ目は、子育て、教育だ。保育、幼稚園無料、

業」を行い、その一環でバイオガス発電を行っている。そのおかげで、電力自給率109.2%、食料自給率350.5%を実現させている。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

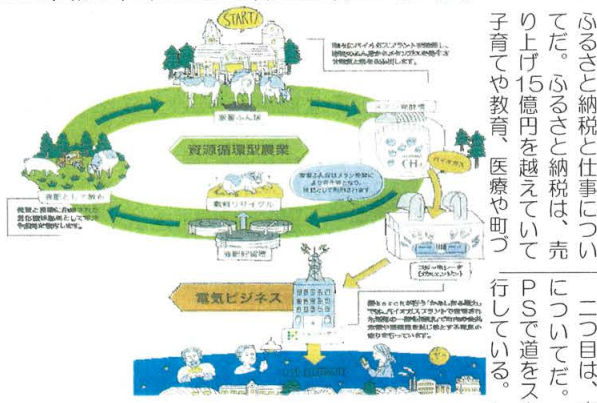
通園の補助、交流、移住、定住の促進を行っている。民間賃貸住宅の増加、移住体験などにも取り組んでいるそう。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)



上士幌町の取り組みを学ぶため上士幌町役場に行ってきた。ここでは役場の方の講話を聞き、自動運転バスに乗りした。ここでわかったことは5つある。

一つ目は、返礼品はドリームドルチェのエセラートや肉の加工品などがあつた。仕事は、民間企業をつくり、電力を売ったり、観光戦をやることで仕事が増えている。

二つ目は、自動運転バスについてだ。このバスはGPSで道をスキャンして走り続けている。LINEでどこにいるのかもわかる。最近ルートが追加されて利用者が増えたそう。高齢者の方が買い物が利用することが多いと言っていた。

三つ目は、スマートタウンの実現についてだ。自動運転バス、停車

づくり、ドローン災害救助コンテスト、5Gスマート農業に取り組んでいるそう。他にも交流、移住、定住の促進も行い、令和元年には42人も人口が増えている。

四つ目は、農業、酪農だ。上士幌では、「資源循環型農業」を推進している。

五つ目は、子育て、教育だ。保育、幼稚園無料、

業」を行い、その一環でバイオガス発電を行っている。そのおかげで、電力自給率109.2%、食料自給率350.5%を実現させている。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

通園の補助、交流、移住、定住の促進を行っている。民間賃貸住宅の増加、移住体験などにも取り組んでいるそう。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

～総合的な学習の時間～ 多町と比較して考察する



はじめに学芸員の田中さんにバードコールづくりを教えてもらった。みんなすてきなバードコールを作れてよかった。そのあと実際にバードコールを外でならしてみ

次は施設展示を見学した。田中さんに、ひがし大雪のいろいろな動物に

ここで体験をとおして分かったことは、次のことだ。

- ・ひがし大雪自然館は国と士幌町のふたつがかりしていること。
- ・氷河期の生き残り、ナキウサギの生態について。
- ・ひがし大雪の生き物だけではなく、海外のめずらしい昆虫の標本を展示していること。

次に、自然館のまわりを散策した。旧国鉄土幌線跡を散策し、糠平川丘陵を見学し、糠平の歴史を感じる事が出来た。

いろいろな昆虫の標本見られて、すごいと思った。そして、またきたいと思

エゾサンショウウオのことや、知らない動物のことを知ることができて、勉強になり、楽しかった。(弘法)

ひがし大雪自然館で学ぶ

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

通園の補助、交流、移住、定住の促進を行っている。民間賃貸住宅の増加、移住体験などにも取り組んでいるそう。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

上士幌町の取り組みを学ぶため上士幌町役場に行ってきた。ここでは役場の方の講話を聞き、自動運転バスに乗りした。ここでわかったことは5つある。

一つ目は、返礼品はドリームドルチェのエセラートや肉の加工品などがあつた。仕事は、民間企業をつくり、電力を売ったり、観光戦をやることで仕事が増えている。

二つ目は、自動運転バスについてだ。このバスはGPSで道をスキャンして走り続けている。LINEでどこにいるのかもわかる。最近ルートが追加されて利用者が増えたそう。高齢者の方が買い物が利用することが多いと言っていた。

三つ目は、スマートタウンの実現についてだ。自動運転バス、停車

づくり、ドローン災害救助コンテスト、5Gスマート農業に取り組んでいるそう。他にも交流、移住、定住の促進も行い、令和元年には42人も人口が増えている。

四つ目は、農業、酪農だ。上士幌では、「資源循環型農業」を推進している。

五つ目は、子育て、教育だ。保育、幼稚園無料、

業」を行い、その一環でバイオガス発電を行っている。そのおかげで、電力自給率109.2%、食料自給率350.5%を実現させている。

上士幌町役場へ行って上士幌の取り組みを知ることができた。上士幌では人口を増やすために、移住体験事業などの取り組みを行っていることがわかった。若い人への支援が手厚いのがすごいと思った。(知里)

通園の補助、交流、移住、定住の促進を行っている。民間賃貸住宅の増加、移住体験などにも取り組んでいるそう。



ドリームドルチェで学ぶ

と分かった。ドリームドルチェでは、牧場で搾乳された生乳を使用したソフトクリームやジェラート・ケーキ・焼きがしが販売がされていた。そして十勝の食材にこだわった物を作っていた。

ジェラートは十六種類以上あり、十勝の食材を食べる良い機会になった。(珠季)

ヌブカの里で炊事と アウトドアレク

ヌブカの里では、炊事とレクリエーション、朝の散歩を行った。

炊事

炊事では、準備遅れて、時間までできるか心配だったが、時間通りに進められてよかった。



途中
で雨が
降り出
したが、

雨の中カレールを食べるのはとても新鮮で楽しかった。
先生方のカレールを食べると、私たちのカレールよりもおいしくてびっくりした。



レクリエーション

レクリエーションでは、みんなでのゲームをして楽しんだ。みんなの口ぐせをもっと知ることができてよかった。

レクリエーション中に渡辺・竹内先生が差し入れを持ってきてくださり、甘いものでお腹が満たされとてもうれしかった。

朝の散歩 & 朝食

2日目は、朝ご飯の前に散歩をした。とても眠

宿泊学習を兼ね 上士幌町を探索

だったので、目が覚めた。散歩で坂を上ると遊具があったので、みんなでターザンロープで遊んだ。
その後は、トカトカで買ったパンやランチパック食べた。



ラフティング

ラフティングでは、ガイドさんの指示を聞きながらボードをこいだ。さらに、約4メートルの岩からダイブした。

ラフティングをしながら思ったのは、いつもは橋の上からみている川が、川の真ん中からみると水は透き通っていたこと。また、魚がたくさん泳いでいたところを見られてと、とても新鮮でキレイだった。(優凛)



学習のまとめ

今年度は「浦幌町と比較して、上士幌町の取り組みや工夫を学ぶ」のテーマで調べ学習を進めていった。
今回、宿泊学習を通して



分かったことは、上士幌町は、ふるさと納税で民間賃貸住宅供給戸など新しい施設が建てられたり、150億円をこえるふるさと納税によって保育園、幼稚園無料補助など子育て、教育支援が手厚いことだ。

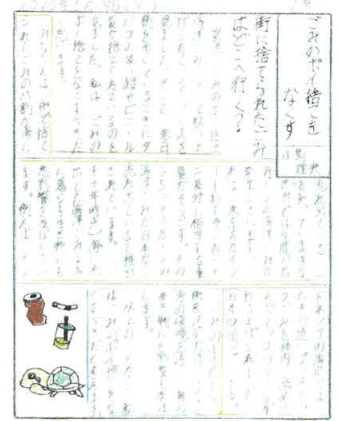
一方浦幌町では、地域の施設が少なく、ふるさと納税は、役9000万円と上士幌町に比べても少ないことが分かった。
来年は、十勝の外に視野を広げ、学習を進めていく。(咲耶)



「はかき新聞」で短く速く書く

二年生の抱負や行事(運動会・文化祭)で、今年もはかき新聞を使って短く早く書く学習を行った。

今年「新聞投稿原稿」にも挑戦した。短い中にも、身のまわりや社会を見て、自分の意見を書けるようになってきた。
今年も全国中学校総合文化祭で展示され、全員で賞状をもらうことができた。(弘法)



生徒会活動で中心になる

10月から後期の生徒会活動がスタートした。選挙で選ばれた書記局のメンバーを始め、各委員会も全て二年生が委員長となった。今どのような活動をしているか紹介する。

生徒会活動の中心☆書記局☆

【目標】自ら積極的に取り組み、楽しい雰囲気で行える学校にしよう

生徒会執行部でもある書記局では、次のような活動を行っている。

・挨拶運動

・挨拶を元気に率先して行うために、月&金曜日に「挨拶」と「もう一言だして」



リハーサルの様子

- 【意見箱】
- ・学校をよりよい場所にしていくという取組。
- ・生徒がやって欲しいことを箱に入れてもらう。
- 【放課後学習会】
- ・みんなで学習することで、仲を深めながら学力も上げたい。



史的な出来

・今朝の放送では、「今日は何の日」として歴史的な出来

・毎日、朝と昼に放送をしている。

【放送活動】

・毎週金曜日に様々な情報を届ける「上ラジ」をしている。

・「生徒会誌」の原稿依頼と文章の打ち込み。(咲耶)



編集後記

新聞の題名は「百花繚乱」。色々な花が咲き乱れること。そして、優れた人物が数多く現れることです。

- ★小川理央
- ★小島理央
- ★砂原弘法
- ★竹田優凜
- ★山内咲耶

月	火	水	木	金
山内	石原	大西	山口	竹田



本番：町民の前で発表

【実践発表】

・全校で交流する目的で、書記局主体の全校レクリエーションを企画。

・クイズやお祭りのようなゲームを実施し、全校生徒に愉しんでもらう。

- （生徒会長）
- （副会長）
- （珠季）
- （知里）



【目標】全校が本に興味をもち、勉強に集中できるような環境作りをしよう

学習と読書を推進 ☆学習委員会☆

学習委員会では、主に次のような活動をしている。

- ・壁新聞を作った、本の帯
- ・自分の読みたい本をアンケート用紙に書いてもらい、学校にリクエストする。
- ・テストの範囲表つくる。
- ・定期テストの前に、先生方に出題範囲や学習のポイントを書いてもらい、編集してみんなに渡している。(優凜)